

会場からの質問	ご説明いただいた運航管理システムを実現する際のインフラストラクチャについて伺いたい。小型ドローンは携帯電話網が主になるのではないかと思うが、比較的高度の高いところを利用する空飛ぶクルマの運航管理については、今後どのような方法が有望か。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

➤ **日本電気 山下様 ご回答**

ドローンだからセルラ網、と限定しているわけではなく、どうするべきかを現在検討している状況である。

➤ **日本電気 荒井様 ご回答**

空飛ぶクルマについては、議論はこれから始まると思っている。まずは既存のインフラを使用するというので、ADS-B 網を使用し、位置情報のモニタリングをすることがスタートラインである。その後は、ドローンと同様に携帯網（LTE 網や5G 網など）のインフラを利用する部分もあると考える。（携帯網はベストエフォート型の通信のため、位置情報のモニタリングなどの利用は可能と考える。信頼性や安全性の面で課題がある。）

今後、制度化されれば専用電波を使った独自網という形で、空飛ぶクルマの自動化にも対応できるように育てていきたい。（監視情報や自動運航など信頼性や安全性を求める通信が必要な場合には専用電波を使った独自網の構築も検討する必要がある。）

まさにこの辺りの議論は、ReAMo プロジェクトの中でもしっかり行っていきたいと考えており、通信インフラのグランドデザインをこれから皆様と議論していきたい。意見を頂きながら最適解を見つけ出していこうと思う。

➤ **KDDI 杉田様 ご回答**

ドローンについては、これからセルラ網を上空で使用する人が増加すると思っているが、どうしてもエリア外に入ってしまうところが出てくる。人口カバー率は99%以上で設計しているが、エリアカバー率は約70%であり、特にドローンで物流を行おうとした場合、人がいないところを結ぶという形の飛ばし方をすることが多いだろう。これを全てセルラ網で構築してしまうと、投資対効果が合わないということになる。今後、Starlink を始めとした低高度衛星の利活用がスマホでもできるフェーズに入ってくるため、ハイブリッドを意識しながら、いかにネットワークにドローンや空飛ぶクルマを繋いでいくかということがポイントであると思っている。この辺りは、皆様からニーズ等を頂きながら進めていきたい。